



消防車・救急車の緊急走行にご理解とご協力を！

緊急自動車（消防車、救急車など）は、一刻も早く火災などの災害現場に到着し、被害を最小限にするための消防活動を行ったり、けがや病気の人を速やかに医療機関へ搬送しなければなりません。自動車を運転中に、緊急自動車が接近してきた場合は、次のように対応してください。

▶交差点またはその付近

交差点内を避け、道路の左側に寄って、一時停止してください。

▶交差点またはその付近以外

道路の左側に寄って、進路を譲ってください。

▶高速道路など

緊急自動車が本線車線に進入しようとしている場合は、妨げないようにしてください。

▶狭い道路

狭い道で停車する場合は、緊急自動車の通行に支障がないようにしてください。

▶自転車走行中または歩行中

自転車の走行や歩行を止め、進路を譲ってください。

※緊急自動車は、走行中サイレンを鳴らすことが法律で義務付けられています。夜間など緊急走行時のサイレン音についてもご理解をお願いします。

救急車の適正利用にご協力ください

彦根市消防本部の救急出動件数は年々増加しています。心筋梗塞や脳卒中、大きな怪我などは治療までのスピードが重要です。いつ自分や家族に救急車が必要となるかわかりません。その時、最寄りの救急車が出動できるよう、みなさんのご理解とご協力をお願いします。



除雪のお願い

消火栓や防火水槽が雪に埋まってしまうと、消火用水の確保に時間がかかるため、火災が広がり、被害が拡大してまいります。お住まいの周囲を除雪される場合は、お近くの雪に埋もれた消火栓なども除雪いただきますよう、ご協力をお願いします。



チケット情報

ひこね市文化プラザ

3月30日(土) 15:30 グランドホール
BS朝日presentsスーパー4Kマジックショー
Mr.マリック超魔術団 2024

指定 【好評発売中】一般 8,000円 子ども(小学生以下) 5,000円
※お土産付き ※膝上鑑賞可(席が必要な場合は要チケット)

マジック界のレジェンドMr.マリックによる、最高難易度のマジックショーを目の前でご体感ください。ハンドパワーが、きてます。

6月9日(日) 17:00 グランドホール
山崎育三郎 全国 TOUR 2024
『THE HANDSOME』

指定 【2月10日(土) 9:00~ 友の会予約開始】 10,000円
【2月17日(土) 10:00~ 一般予約開始】 10,000円



※チケットのお申し込みはおひとり様4枚まで。
※3歳以上チケット必要。3歳未満もお席が必要な場合はチケット必要。

過去最大規模の全国ツアー開催決定!ミュージカルなのか、ライブなのか。山崎育三郎によるエンターテインメントショーをお楽しみください。

申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00)
チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/

2月の休館日: 5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(日)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

みずほ文化センター

3月9日(土) 14:00 多目的ホール
彦根亭 みずほ寄席
Vol.52 弥生公演

自由 【好評発売中】小学生以上 託児あり(有料・要予約)

前売:500円 当日:600円
お馴染みの松竹芸能の愉快な面々が笑いを届けます。漫才/道草ピエロ 漫談/オーパスツー 落語/笑福亭喬龍、二代目桂春之輔の4組が出演します。

3月23日(土) 14:00 多目的ホール
アンサンブルMUSEがあなたに贈る
すてきな歌の世界

自由 【好評発売中】前売:500円 当日:600円
※小学生以下は無料(要無料チケット)



クラシックの名曲と懐かしい童謡を中心に、気軽に!身近に!素敵な!楽しい音楽を!!そんな思いを乗せてお届けします。

申込・お問い合わせ先
みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00~17:00)

2月の休館日: 6日(火)、13日(火)、20日(火)、24日(土)、27日(火)

◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。



2月17日(土)~3月17日(日)

雛と雛道具

井伊家13代直弼の愛娘弥千代(1846~1927)の大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した古今雛などととも一挙公開。春の訪れを告げる恒例の展示です。



▲弥千代の雛道具

■スライドトーク

【日時】2月17日(土)14:00~(30分程度)

【講師】当館学芸員 【場所】講堂

※無料(観覧料は別途必要)

※当日受付(先着50人、受付は13:30~)

■【休館日のお知らせ】1月16日(火)~2月16日(金)

彦根城博物館の学芸員が、各自の研究テーマについて、日頃の研究成果を踏まえて解説します。

2月24日(土)

①石黒務一明治に活躍した旧彦根藩士一

3月9日(土)

②「暮物何」から見た彦根藩武家奉公人の実像

3月16日(土)

③井伊直忠の能稽古と梅若家

①②③共通

【時間】14:00~15:30

【講師】当館学芸員 【場所】講堂

※資料代100円(観覧料は別途必要)

※当日受付(先着50人、受付は13:30~)



▲翁狩衣装の井伊直忠

とまの玉手箱

博物館からのメッセージ

第329回

「御用番」の家老の勤め―「側役日記」の分析から―

彦根城博物館では、彦根藩資料調査研究会を組織し、「殿様の日常生活」の解明をテーマとして研究を進めています。この研究会では、藩主の側近くに仕えた藩士の側役が記した日記である「側役日記」を基本史料として分析しています。今回は、この史料から、御用番の家老について紹介いたします。彦根藩では、木俣清左衛門家、庵原助右衛門家、中野助太夫家をはじめとする大身の家臣の中から、常時5人前後が家老の役に就いていました。家老は、藩主の意を受ける形で合議制のもと藩政を運営する、藩主の代行者とも言うべき役職です。藩の各役所への指示や藩士の賞罰の吟味、藩主が藩外の人とやりとりする文書と物品の差配、藩主の行動の日程調整など、多くの事柄を担当しました。家老は月ごとに輪番で御用番を勤めました。御用番の家老は、彦根城表御殿の御用部屋に詰め、藩主の意向を伺う、家老中の窓口のような役割です。側役日記の、井伊家10代直幸が藩主であった天明8年(1777)3月の記事から、御用番の動きを見てみましょう。1日の記事に「当月御用番相勤候旨小三郎殿被申上(今月御用番を勤める旨を小三郎殿に申し上る)」とあり、側役日記の分析を行うにつれ、御用番が全ての事柄の窓口であったわけではなくともわかってきました。例えば、直幸期には、井伊家祈願寺の北野寺など特定の寺社との連絡は木俣土佐が専ら担っていたようです。家老の中での役割分担など、まだわからないことが多くあります。さらに研究を進め、具体像を明らかにすることが課題となっています。彦根城博物館学芸員 荒田雄市

●人口と世帯数(1月1日現在)
人口: 111,118人 (-65)
男性: 55,480人 (-37)
女性: 55,638人 (-28)
世帯数: 50,688世帯 (-6)
※()内は前月比
▶彦根市では、点字および音声版広報ひこね(編集版)を発行しています。
☎ 障害福祉課 ☎27-9981 FAX 30-9231
▶外国語版(英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語)の広報ひこね(編集版)を発行しています。
☎ 人権政策課 ☎30-6113 FAX 24-8577
▶廃棄する場合には古紙回収に出してください。
▶広報ひこねは54,700部作成し、1部当たりの単価は17円(1円未満切り捨て)です。原稿作成・編集などにかかる職員の人員費は含まれていません。